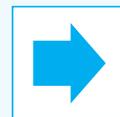


茨城県の経済現況 (2022年7月)

茨城県全体

景気は、感染症による影響が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。先行きは、経済活動の正常化が続き、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症の再拡大や世界情勢悪化に伴うさらなる仕入価格の上昇、供給制約の長期化等が与える影響に注意。企業等の景況感は、製造業、非製造業ともに「悪化」超幅が縮小している。

前月からの変化



個人消費

自動車等一部に弱さがみられるものの、全体としては持ち直しの動きがみられる。



公共投資

底堅い動きとなっている。



住宅投資

持ち直している。



雇用・所得情勢

雇用情勢は持ち直しつつある。所得は持ち直しの動きが一服している。



設備投資

前年を上回っている。



企業の生産活動

基調としては持ち直している。

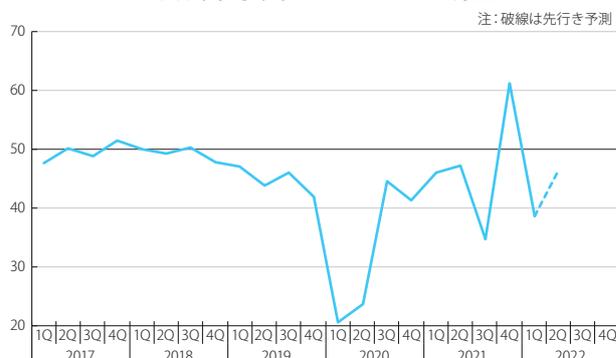


自社業況判断DI



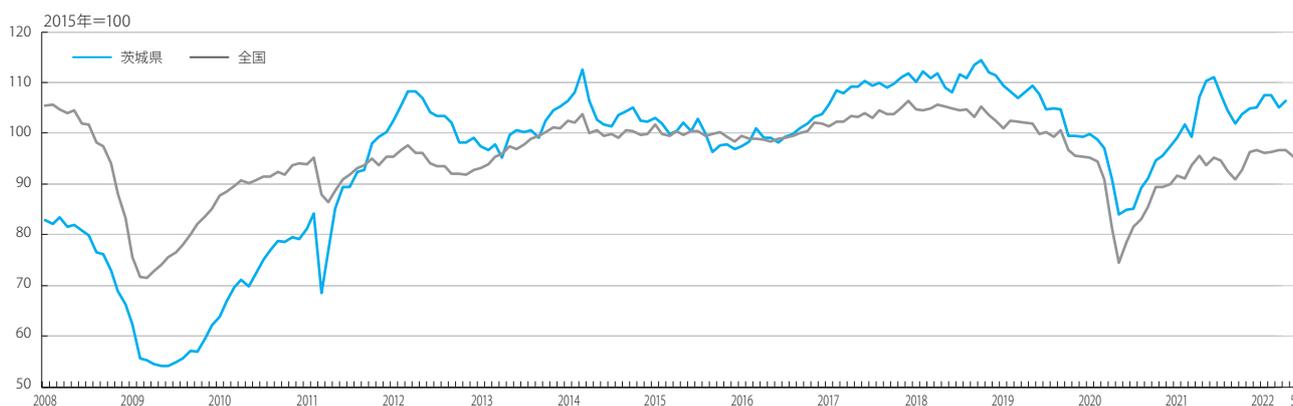
出所：筑波総研(株) 茨城県内企業経営動向調査

茨城県景気ウォッチャー調査



出所：茨城県

景気動向指数 (CI、一致指数)



出所：内閣府、茨城県

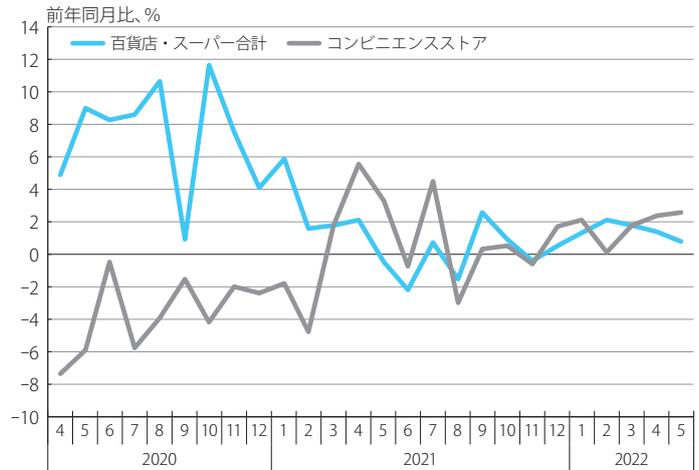
茨城県の主要経済指標

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額

5月の百貨店・スーパー販売額(全店ベース、速報)は30,914百万円、前年同月比+0.8%と6か月連続で増加した。

なお、既存店ベースでは同+0.1%と6か月連続で増加した。

5月のコンビニエンスストア販売額(同)は25,626百万円、同+2.6%と6か月連続で増加した。店舗数は、同▲1.8%減少した。



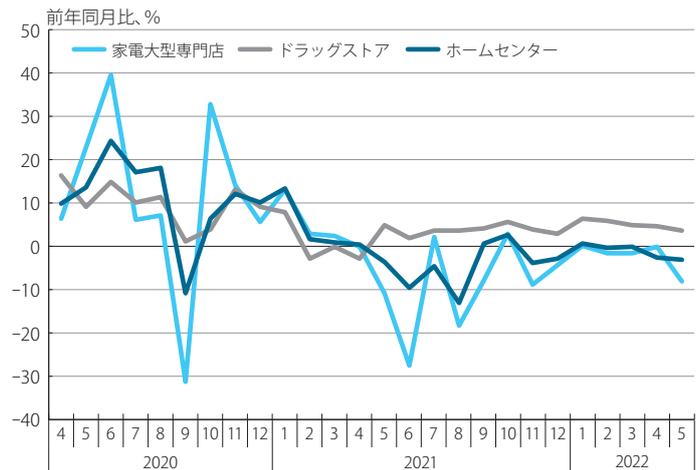
出所：経済産業省

専門量販店販売額

5月の家電大型専門店販売額(全店ベース、速報)は6,844百万円、前年同月比▲8.2%と4か月連続で減少した。店舗数は、同横ばいとなった。

5月のドラッグストア販売額(同)は17,786百万円、同+3.5%と13か月連続で増加した。店舗数は、同+5.1%増加した。

5月のホームセンター販売額(同)は12,186百万円、同▲3.1%と4か月連続で減少した。店舗数は、同+0.8%増加した。



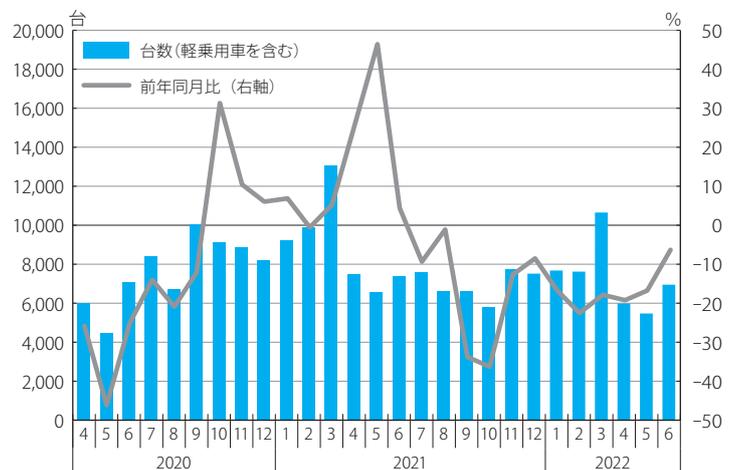
出所：経済産業省

乗用車新車登録台数

6月の乗用車新車登録台数(軽乗用車を含む)は6,939台、前年同月比▲6.3%と12か月連続で減少した。

内訳をみると、普通乗用車は同▲11.6%、小型乗用車は同▲4.6%、軽乗用車は同▲0.9%といずれも減少した。

なお、22年4~6月累計の乗用車新車登録台数(軽乗用車を含む)は、前年同期比▲14.1%と減少している。



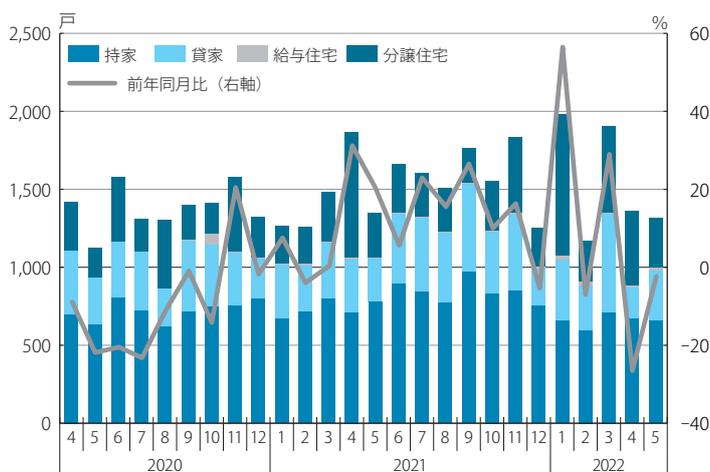
出所：茨城県自動車販売店協会

新設住宅着工戸数

5月の新設住宅着工戸数は1,313戸、前年同月比▲2.5%と2か月連続で減少した。

利用関係別にみると、貸家(同+15.2%)、分譲住宅(同+13.3%)は増加したものの、持家(同▲15.6%)は減少した。

なお、22年4~5月累計の新設住宅着工戸数は、前年同期比▲16.5%と減少している。



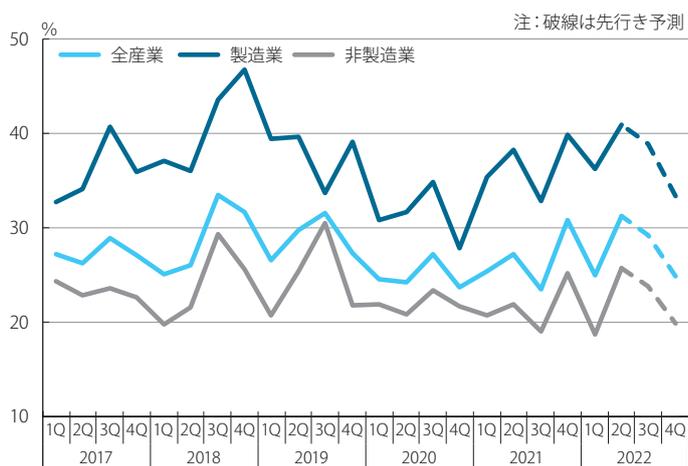
出所：国土交通省

設備投資動向

6月に実施した「茨城県内企業経営動向調査」(22年4~6月実績、回答企業数404先)における設備投資を実施した企業割合は、全産業で31.2%と1~3月比+6.3%ポイント増加した(前年同期比では+4.1%ポイント増加)。

内訳をみると、製造業は40.8%と1~3月比+4.6%ポイント増加した。非製造業は25.7%と同+7.0%ポイント増加した。

先行き、22年7~9月における全産業の設備投資実施割合は4~6月に比べ減少する見通しである。



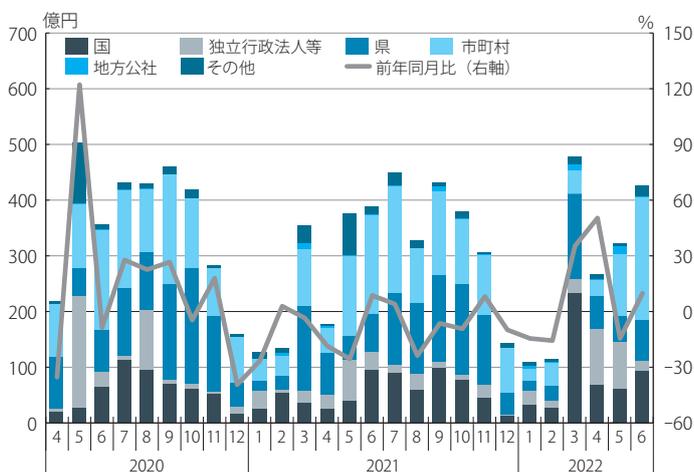
出所：筑波総研(株) 茨城県内企業経営動向調査

公共工事請負金額

6月の公共工事請負金額は42,654百万円、前年同月比+9.7%と2か月振りに増加した。

発注者別にみると、国(同▲1.0%)、独立行政法人等(同▲43.5%)は減少したものの、県(同+7.4%)、市町村(同+23.7%)は増加した。

なお、22年4~6月累計の公共工事請負金額は、前年同期比+7.8%と増加している。



出所：東日本建設業保証(株)茨城支店